

SERI NEWS RELEASE

平成 24 年 5 月 25 日

一般財団法人静岡経済研究所
理事長 鈴木一雄
〒420-0853 静岡市葵区追手町 1-13
アゴラ静岡 5 階
TEL054-250-8750
FAX054-250-8770

2012 年ゴールデンウィーク動向調査

～震災の影響を受けた前年の反動で人出は前年比+44.9%増、新東名も賑わう～

担当：田原 真一

震災の影響を受けた前年の反動で人出は前年比+44.9%増、新東名も賑わう

二〇二二年ゴールデンウィーク動向調査

◆今年のゴールデンウィーク期間中(4/28～5/6)に、静岡県内各地で行われたイベントや主要観光施設246カ所(新東名関連除く)の人出の合計は、延べ570万人、前年比+44.9%の増加となった。

◆イベントや施設の動向(人出)は以下の通りである。

- ① イベント、祭り(39先)……………271万人(前年比+309.1%)
- ② アミューズメント施設、参加・体験型施設(97先)…232万人(前年比△ 5.4%)
- ③ 動植物園、水族館(25先)……………32万人(前年比△ 11.5%)
- ④ 博物館、美術館、歴史資料館(50先)……………19万人(前年比△ 4.1%)
- ⑤ 日帰り温泉施設(35先)……………16万人(前年比△ 5.2%)

◆4月14日に開通した新東名高速道路の商業施設「NEOPASA」7施設におけるGW期間中の入場者は270万人超に上り、新しい強力な集客スポットが登場した。

◆今回の調査では、来場者の消費金額(客単価)が「減った」(29.6%)とする回答が「増えた」(14.6%)を上回っており、出掛けはするものの消費には慎重な様子もうかがえた。観光施設やイベント事業者側には、今年新たに開通した新東名をはじめ、整った交通インフラの利点を最大限に活かしつつ、さらに魅力を高めていく取組みが求められるよう。



▲多数の人々が訪れた新東名の商業施設「NEOPASA」駿河湾沼津SA上り線(写真提供:中日本高速道路株)



▲2年ぶりに開催され、大勢の人で賑わった浜松まつり(写真提供:浜松市役所)



▲GWに見頃を迎えた藤まつり(写真提供:藤枝市役所)

浜松まつりなど大型イベントが2年ぶりに復活 震災で落ち込んだ前年の反動で大幅に増加

今年のゴールデンウィーク(以下、GW)は、5月1日(火)と2日(水)の平日をはさみ、4月28日(土)から30日(月)までの3連休と5月3日(木)から6日(日)までの4連休に分かれた。このため暦上は、休日が昨年より1日減って7日間となったが、5月1日と2日を休日にして9日間の連続休暇とした人々も多かったようである。

また、静岡県内のGW期間中の天候(静岡地方気象台発表)は、5月1日から3日にかけて天候が崩れ、観光施設の集客面にも影響が及んだ。

静岡県内のGWの主なイベントや観光施設など246カ所の人出は、延べ570万人、前年比では+44.9%となった(詳細は7頁図表

参照)。地域別では、中部、西部地域で前年実績を上回った。とくに西部地域は、昨年中止となった「浜松まつり」が2年ぶりに開催、その影響で来場者が減少した施設もみられたが、地域全体では前年比+181.2%と大幅に増加した。また、中部地域でも、昨年中止された「シズオカ・サンバカーニバル」や「さがら草競馬大会」などが復活、前年比+13.1%の人出となった。一方、東部地域は、期中の大雨により屋外型施設が集客に苦しん